

円山川下流部の被害状況等に関するアンケート調査の結果について

円山川下流部治水対策協議会

平素は、国土交通行政へのご理解、ご協力ありがとうございます。

豊岡河川国道事務所では、円山川下流部の区長様、住民の皆様にご協力をいただき、平成 16 年台風 23 号の被害状況や避難行動、治水対策への意見などをアンケート調査いたしました。

ここでは、その結果の概要をご報告させていただきます。なお、調査結果の詳細につきましては、円山川下流部治水対策協議会のホームページに掲載しております。

(豊岡河川国道事務所ホームページ : <http://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka>)

円山川下流部治水対策協議会

平成 16 年の台風 23 号出水により甚大な被害を受けた円山川下流部では、以前からの課題である宅地等の浸水被害、孤立化の対策を検討するため、沿川の関係機関、地元代表による「円山川下流部治水対策協議会」を設置しました。

〔委員構成〕

- 学識者(河川工学) 舞鶴工業高等専門学校 川合茂教授 (座長)
- 豊岡市住民代表 濑戸区長、桃島区長、戸島区長、二見区長、森津区長
- 津居山漁協 組合長
- 兵庫県 但馬県民局企画調整部 市町振興・防災参事 但馬県民局豊岡土木事務所長
- 豊岡市 技監、防災監(消防長)、建設部参事、総務課参事、城崎総合支所長
- 兵庫県城崎警察署長、豊岡警察署長
- 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所長

(1) 調査概要

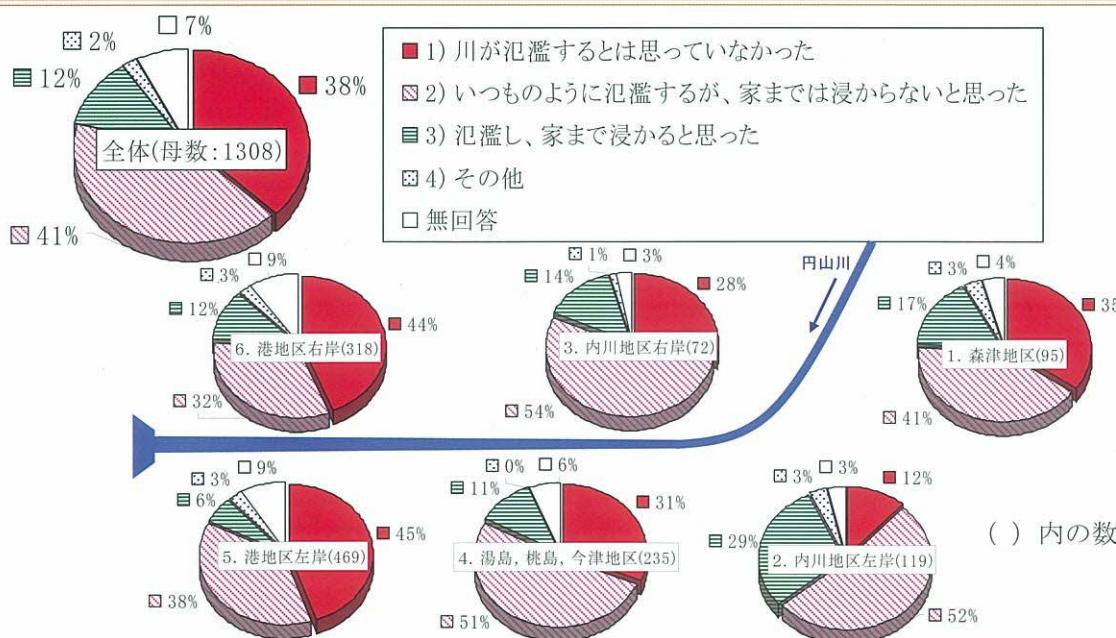
調査対象地域	森津地区 (森津) 内川地区左岸 (来日、円山、ひのそ、上山、二見) 内川地区右岸 (結、戸島、楽々浦、飯谷) 湯島、桃島、今津地区 (大谷、東山、今津、桃島、内島、旭) 港地区左岸 (小島、瀬戸、津居山) 港地区右岸 (気比、田結、畠上、三原)
配布・回収方法	各区長様、町内会長様によるアンケート調査票の配布・回収
調査期間	平成 17 年 6 月 14 日～6 月 24 日
配布数	1,876 世帯
回収数	1,308 世帯 (回収率 : 70%)

【調査対象地域】



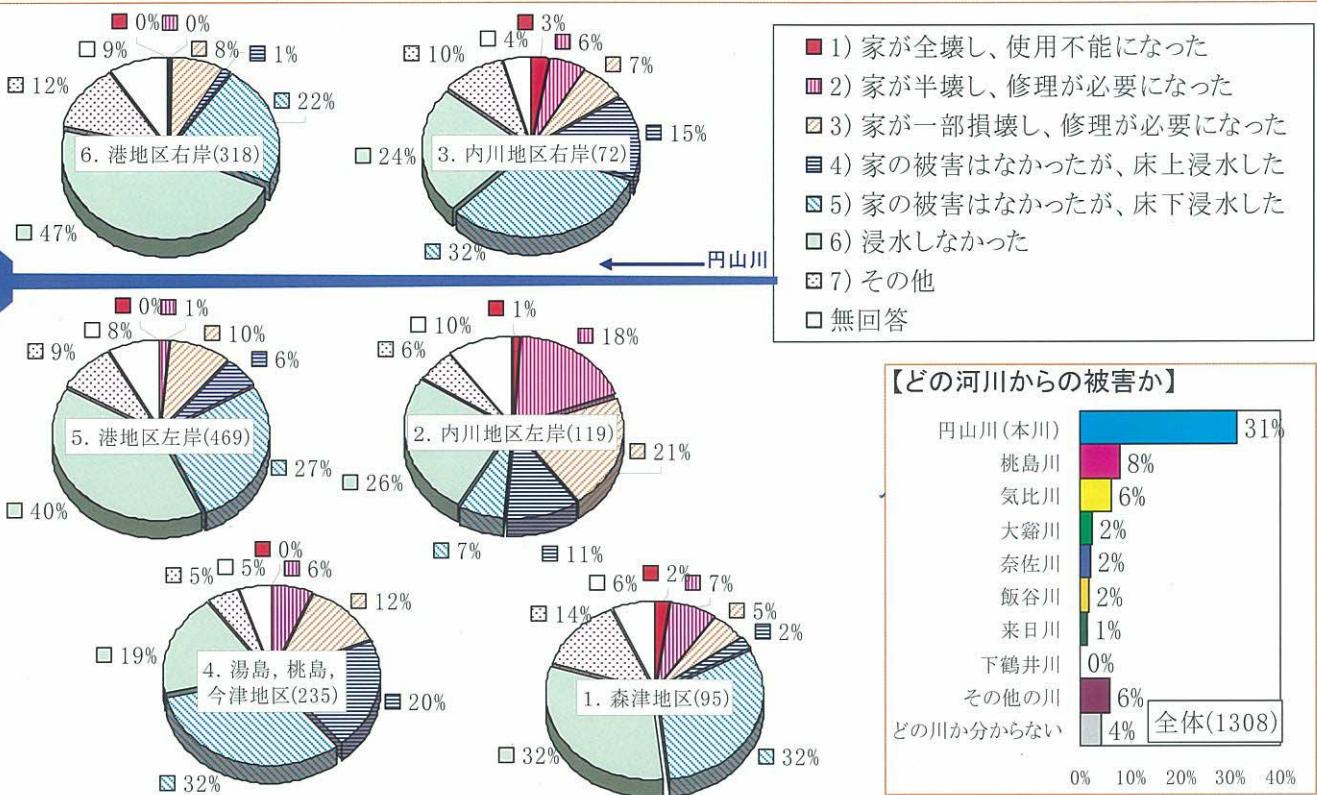
(2) 調査結果

被害状況 1. 台風 23 号の前、円山川が氾濫するとおもっていましたか。



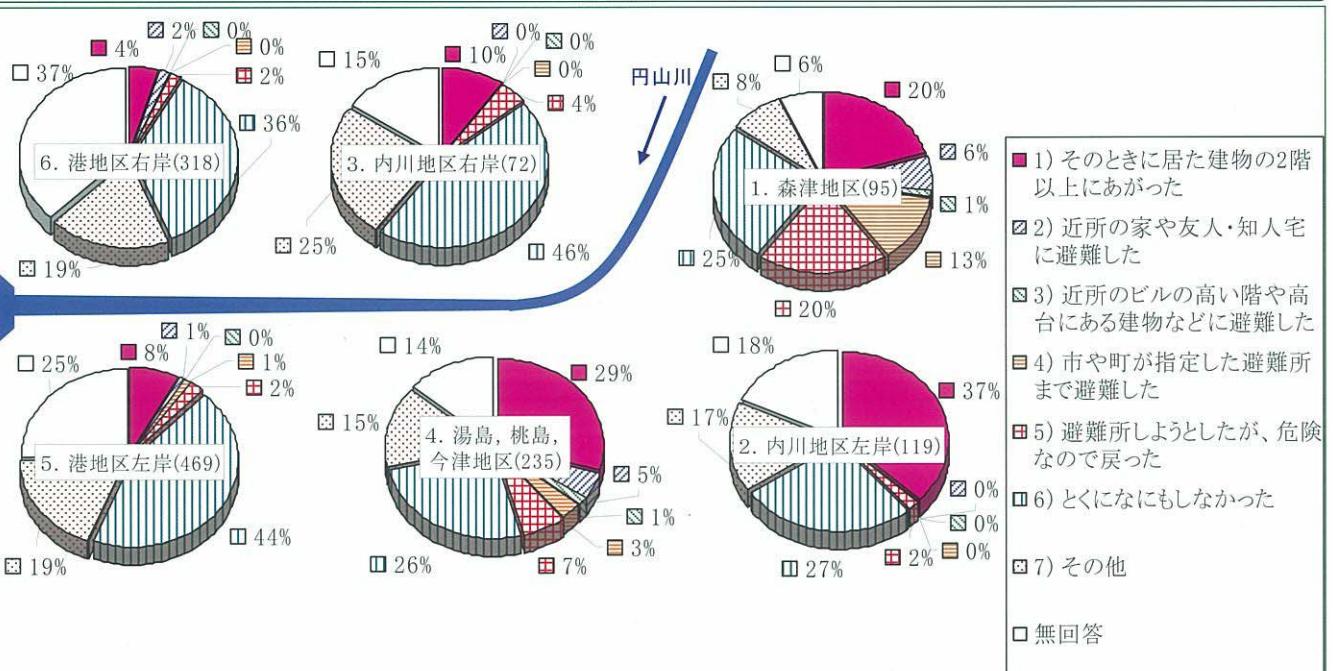
- 38% の人が川が氾濫するとは思っておらず、予想外の洪水であったと考えられる
- 内川地区左岸では比較的危険性の認識は高かった

被害状況2. 台風23号でどのような被害を受けましたか。/どの河川からの浸水により被害を受けましたか。



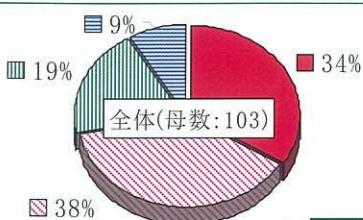
- ▶ 全壊、半壊、一部破損、床上浸水をあわせると22%の家が被害を受けている。
- ▶ 特に、内川地区や湯島、桃島、今津地区において被害が大きい。

避難行動1. 水が迫ってきたとき、まずあなたはどうしましたか。



- ▶ 全体では、「そのときに居た建物の2階以上にあがった」人が14%いる一方、「市や町が指定した避難所まで避難した」はわずか2%であった。
- ▶ 森津地区では「避難しようとしたが、危険なので戻った」人が20%もいる。

避難行動2. 避難する途中で、あなたは身の危険を感じましたか。

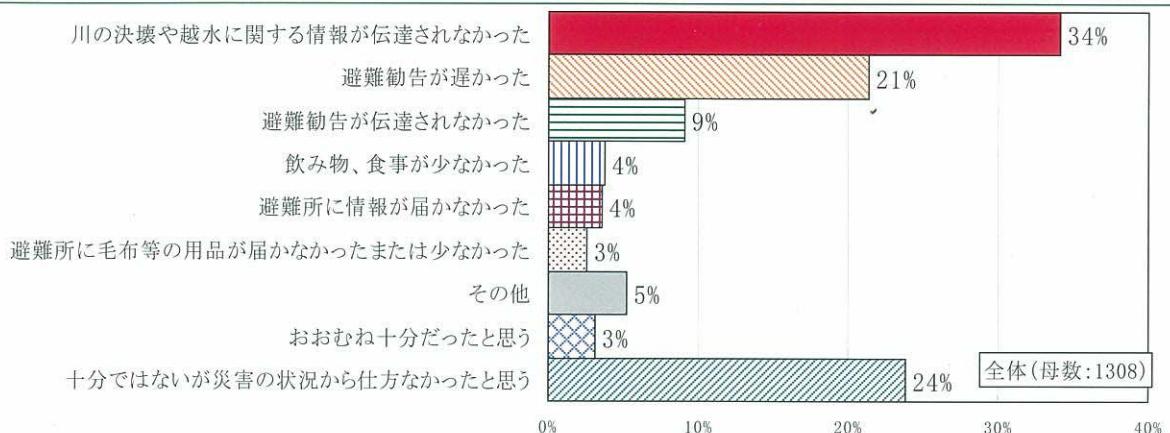


- 1) 非常に危険を感じた
- 2) やや危険を感じた
- 3) あまり危険を感じなかった
- 4) ほとんど危険を感じなかった

※外部に避難した人のみ

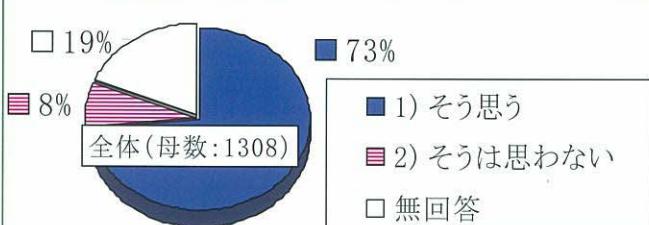
➤ 7割を超える人が危険を感じながら避難していた。

避難行動3. 行政の対応について不十分だったと思うことはありますか（複数回答）。



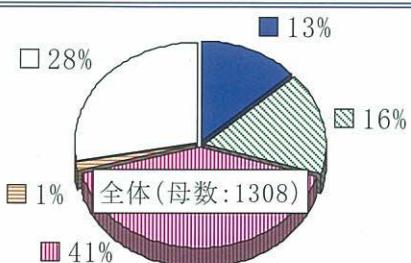
- 「川の決壊や越水に関する情報が伝達されなかった」という回答が最多多い。
- 「避難勧告が遅かった」は全体では21%であるが、湯島、桃島、今津地区では35%にもなる。
- 約4人に1人が「十分ではないが災害の状況から仕方なかった」と回答している。

避難行動4. 空振りになる可能性があっても、避難勧告・指示は早めに出してほしいと思われますか。



- 73%ものが「たとえ空振りになる可能性があっても、避難勧告や避難指示は早めに出してほしい」と考えている。

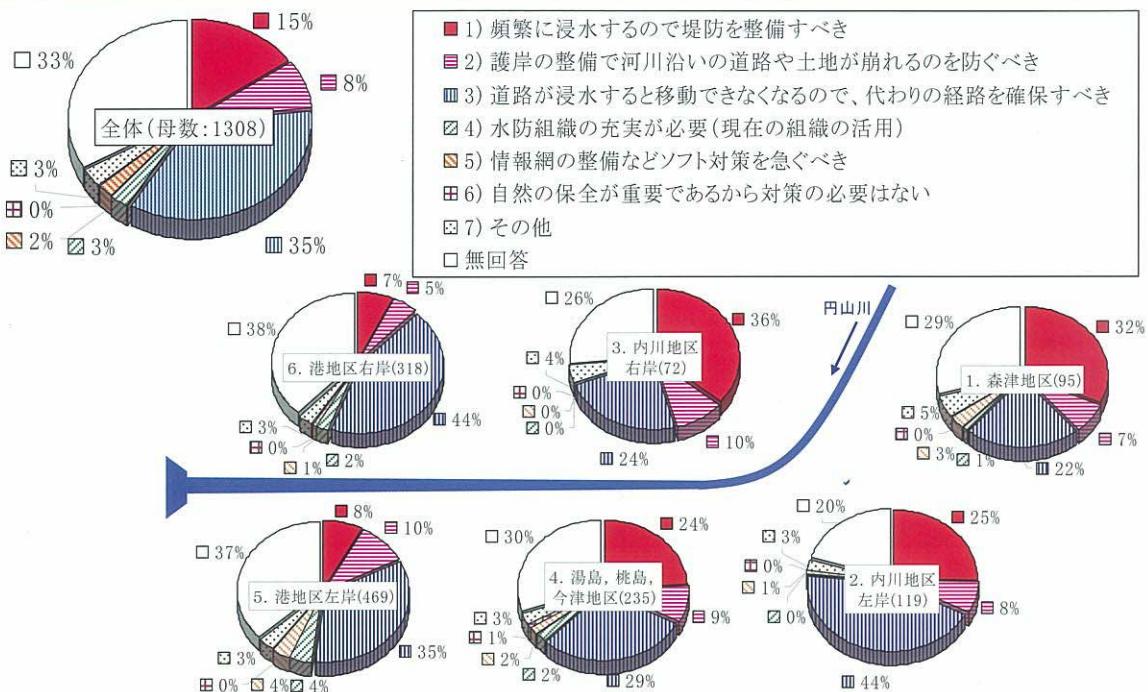
治水対策1. 円山川の緊急治水対策についてどのように思われていますか。



- 1) おおむね十分だと思うので早急に進めて欲しい
- 2) 具体的な対策の内容が分からぬ
- 3) 下流部の対策が少ないのが不満だ
- 4) その他
- 無回答

- 「おおむね十分だと思うので早急に進めて欲しい」とした人は13%。
- 一方、41%の人が「下流部の対策が少ないのが不満だ」と回答しており、地区別では、内川地区、湯島、桃島、今津地区でその割合が高くなっている。

治水対策2. 円山川下流部での対策について、もっとも実施すべきとお考えのものは何ですか。



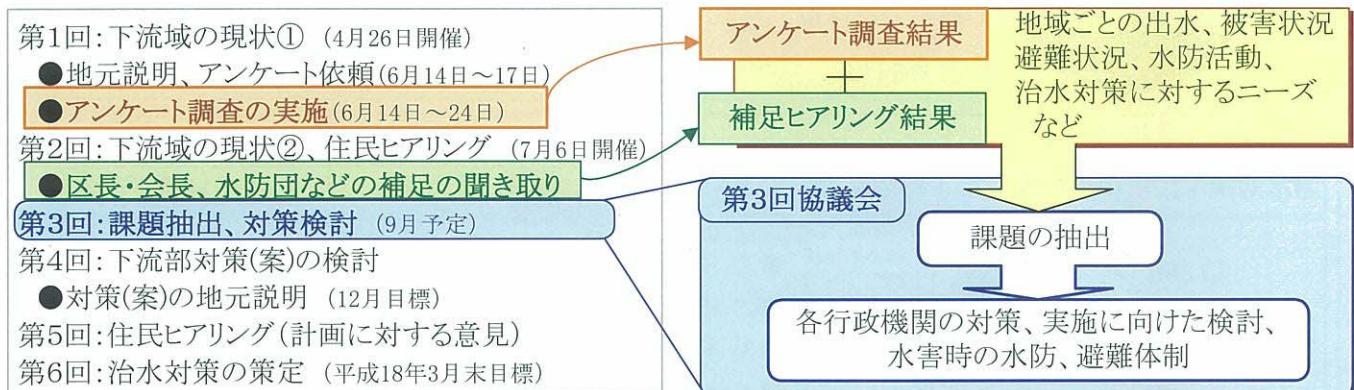
- 全体的に、道路整備、堤防整備などのハード対策に関するニーズが高い。
- 河口にあたる港地区では堤防整備のニーズは低く、道路整備に対するニーズが高くなっている。

その他。治水、防災に対する疑問、質問、提案など。

【要望としてあげられた主な地区別の対策】

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ・JR開口部対策、内水対策の充実〔森津〕 | ・築堤、堤防嵩上げ〔湯島・桃島等の無堤地区〕 |
| ・孤立するので対策を〔来日、円山〕 | ・瀬戸川に水門を〔瀬戸〕 |
| ・集落全体を守る、家屋嵩上げ〔上山、二見〕 | ・気比川の整備〔気比〕 |
| ・避難場所の整備〔飯谷、小島〕 | ・通信手段の確保〔畠上〕 |
| ・桃島樋門にポンプを設置〔桃島、内島、旭〕 | など、様々なご意見をいただきました。 |

(3) 円山川下流部治水対策協議会のスケジュールとアンケート調査の活用方法



アンケートにご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。この結果は、円山川下流部治水対策協議会において、治水対策や情報提供方法等を検討するための基礎資料とさせていただきます。

お問い合わせ・連絡先

国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町10番3号 TEL.0796-22-3126(代)

ホームページ <http://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka>